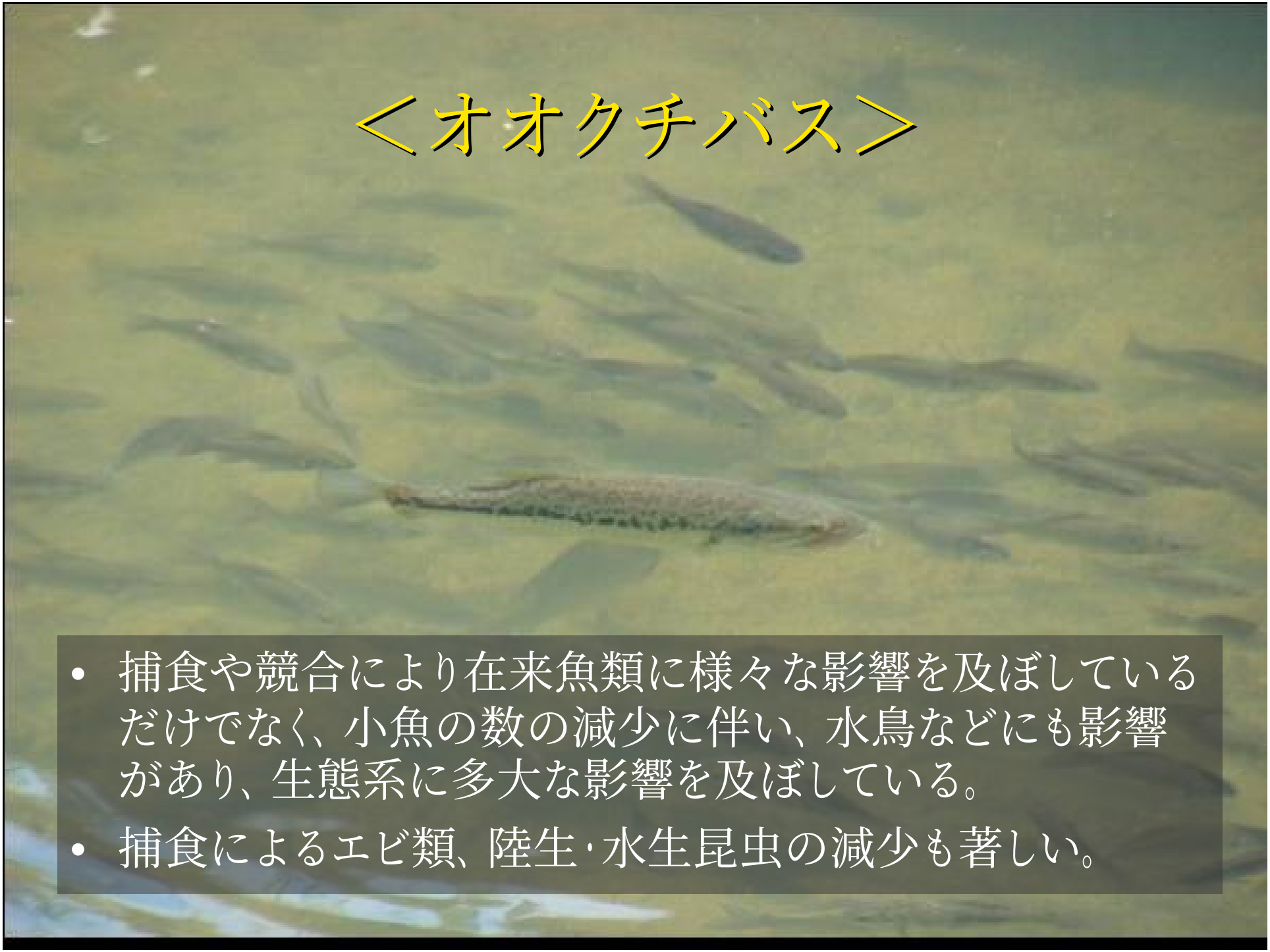
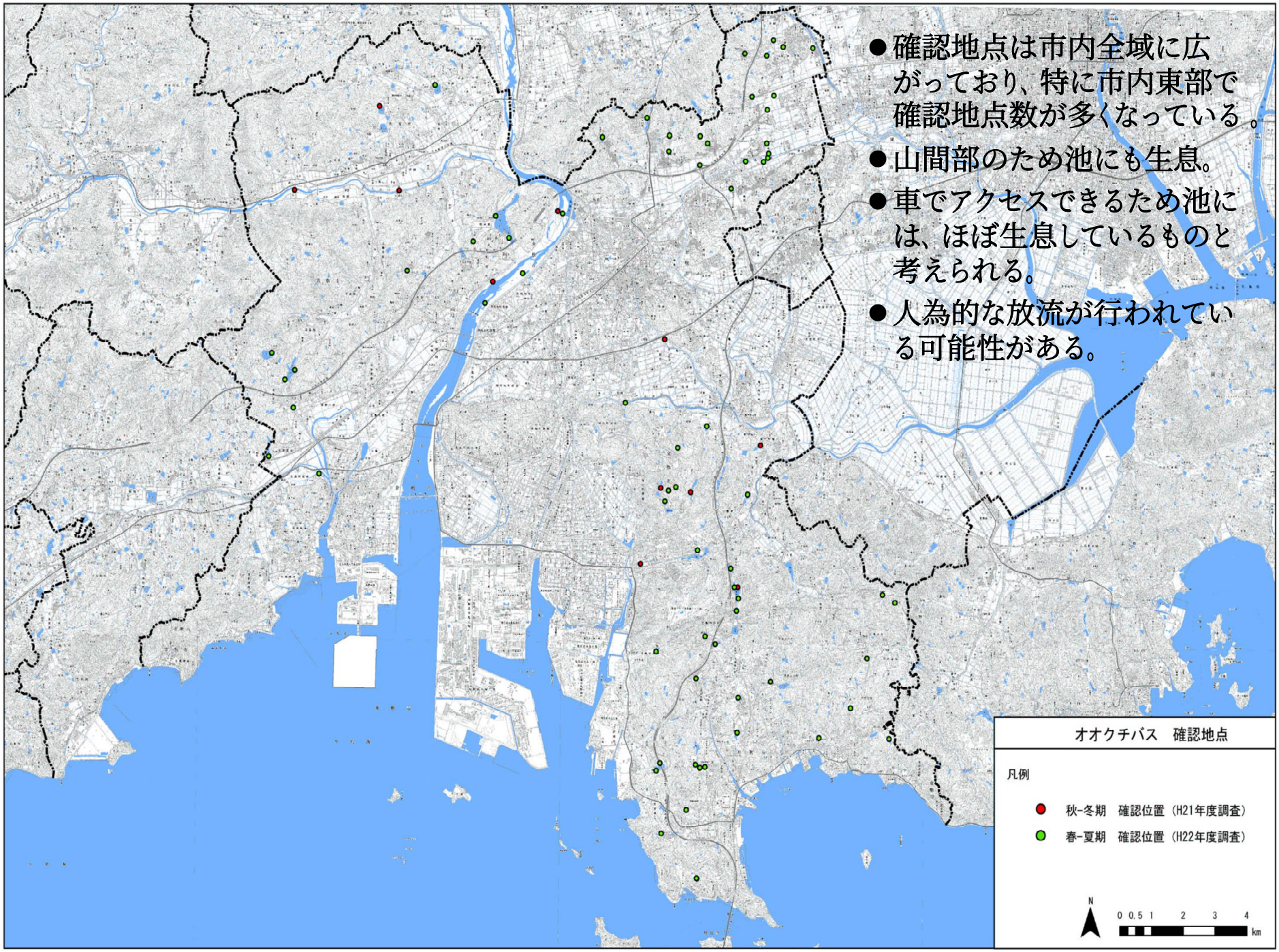
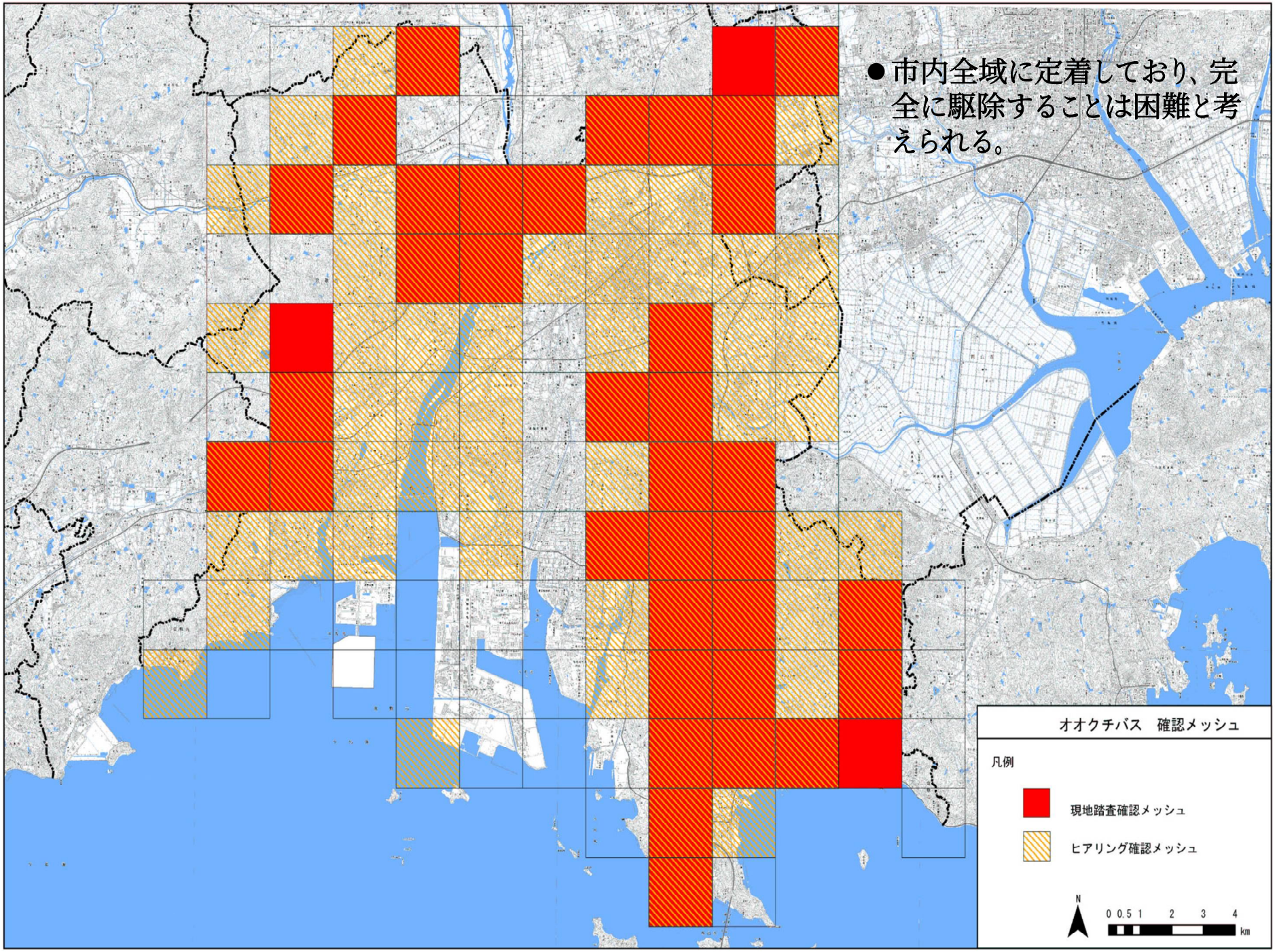
＜オオクチバス＞



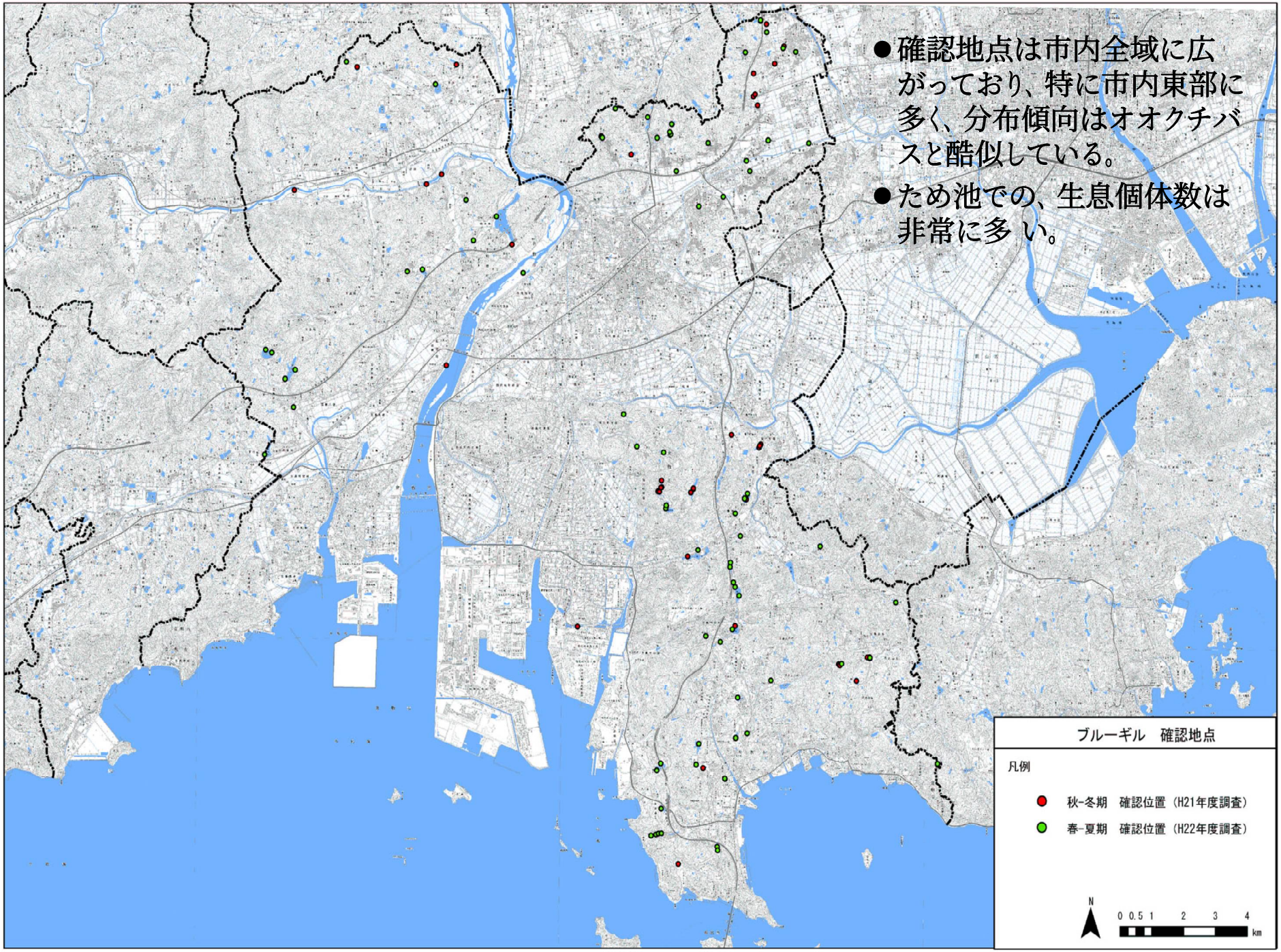
- 捕食や競合により在来魚類に様々な影響を及ぼしているだけでなく、小魚の数の減少に伴い、水鳥などにも影響があり、生態系に多大な影響を及ぼしている。
- 捕食によるエビ類、陸生･水生昆虫の減少も著しい。

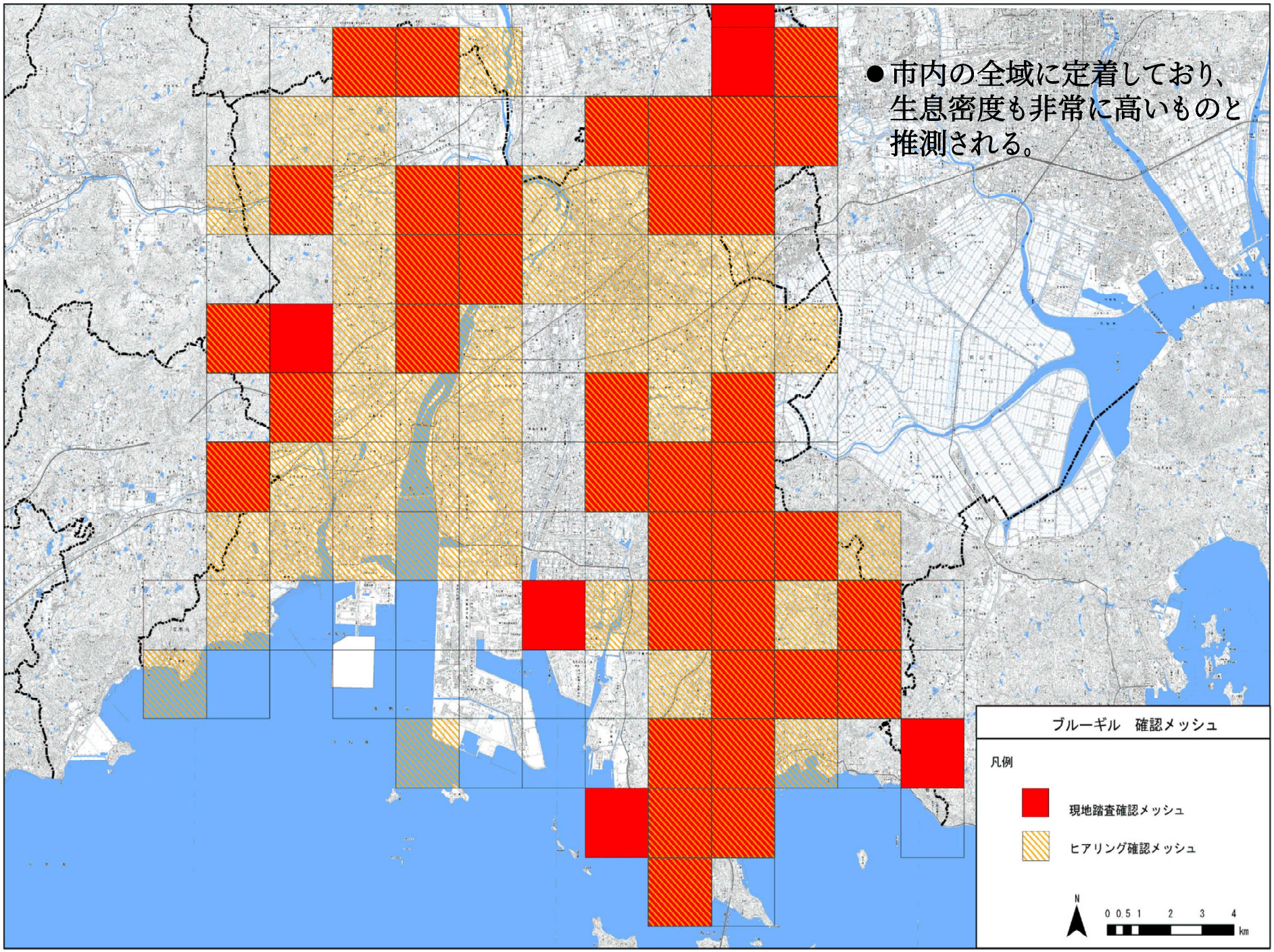

●確認地点は市内全域に広がっており、特に市内東部で確認地点数が多くなっている。
●山間部のため池にも生息。
●車でアクセスできるため池には、ほぼ生息しているものと考えられる。
●人為的な放流が行われている可能性がある。
オオクチバス　確認地点
凡例
秋-冬期　確認位置（H21年度調査）
春-夏期　確認位置（H22年度調査）
N
0 0.5 1 2 3 4
km


●市内全域に定着しており、完全に駆除することは困難と考えられる。
オオクチバス　確認メッシュ
凡例
現地踏査確認メッシュ
ヒアリング確認メッシュ
N
0 0.5 1 2 3 4
km

＜ブルーギル＞

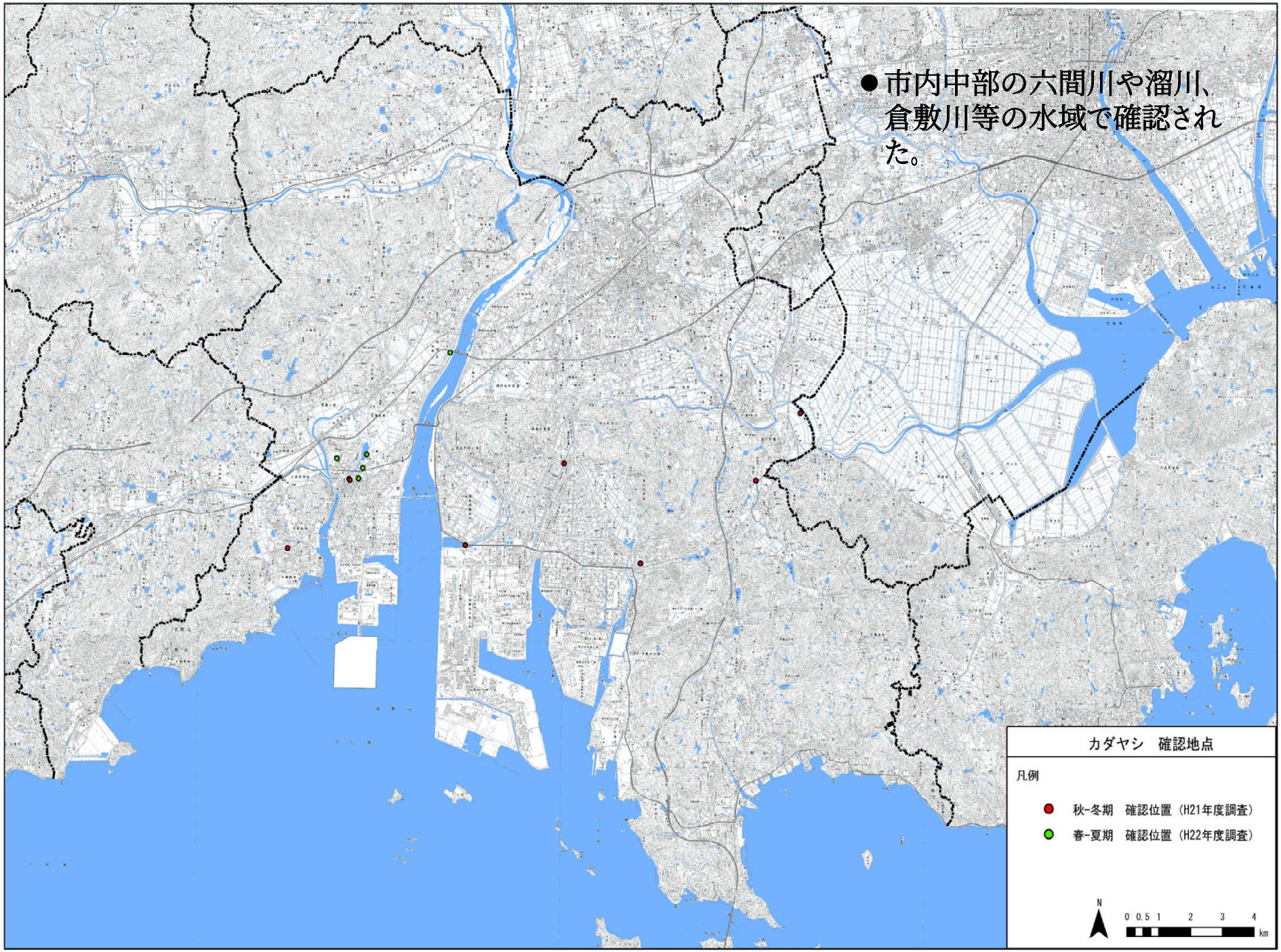
- 幅広い食性のために水生生物全般にとって脅威とされる。
- 水産有用種への食害、多数混獲されることによる漁業被害等 も報告されている。

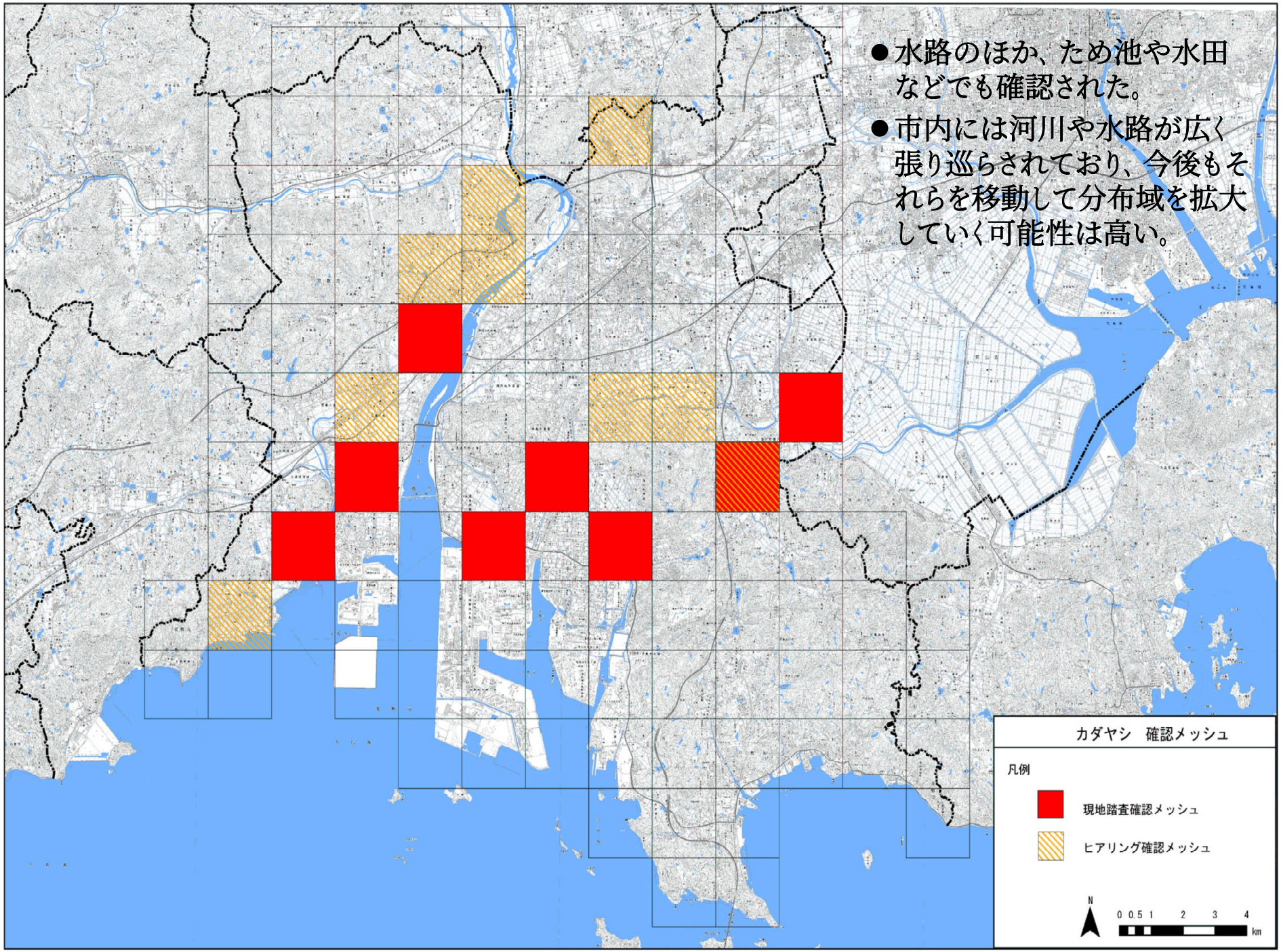

●確認地点は市内全域に広がっており、特に市内東部に多く、分布傾向はオオクチバスと酷似している。
●ため池での、生息個体数は非常に多い。
ブルーギル　確認地点
凡例
秋-冬期　確認位置（H21年度調査）
春-夏期　確認位置（H22年度調査）
N
0 0.5 1 2 3 4
km


●市内の全域に定着しており、
生息密度も非常に高いものと
推測される。
ブルーギル　確認メッシュ
凡例
現地踏査確認メッシュ
ヒアリング確認メッシュ
N
0 0.5 1 2 3 4
km

＜カダヤシ＞

- カダヤシがメダカに置き換わるなどの事例が報告されており、攻撃性の強いカダヤシがメダカを駆逐しているおそれもある。


●市内中部の六間川や溜川、倉敷川等の水域で確認された。
カダヤシ　確認地点
凡例
秋-冬期　確認位置（H21年度調査）
春-夏期　確認位置（H22年度調査）
N
0 0.5 1 2 3 4
km


●水路のほか、ため池や水田などでも確認された。
●市内には河川や水路が広く張り巡らされており、今後もそれらを移動して分布域を拡大していく可能性は高い。
カダヤシ　確認メッシュ
凡例
現地踏査確認メッシュ
ヒアリング確認メッシュ
N
0 0.5 1 2 3 4
km

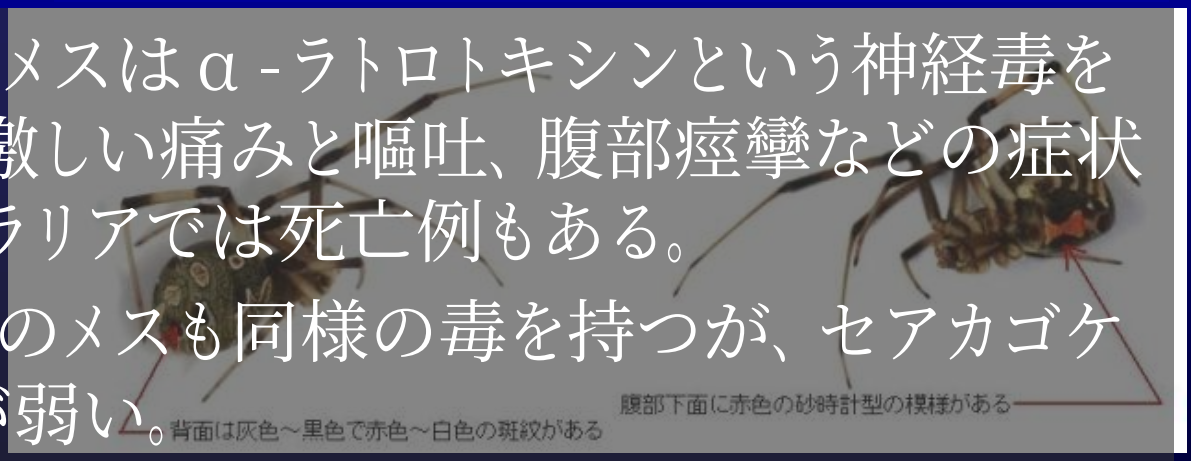
＜セアカゴケグモ＞

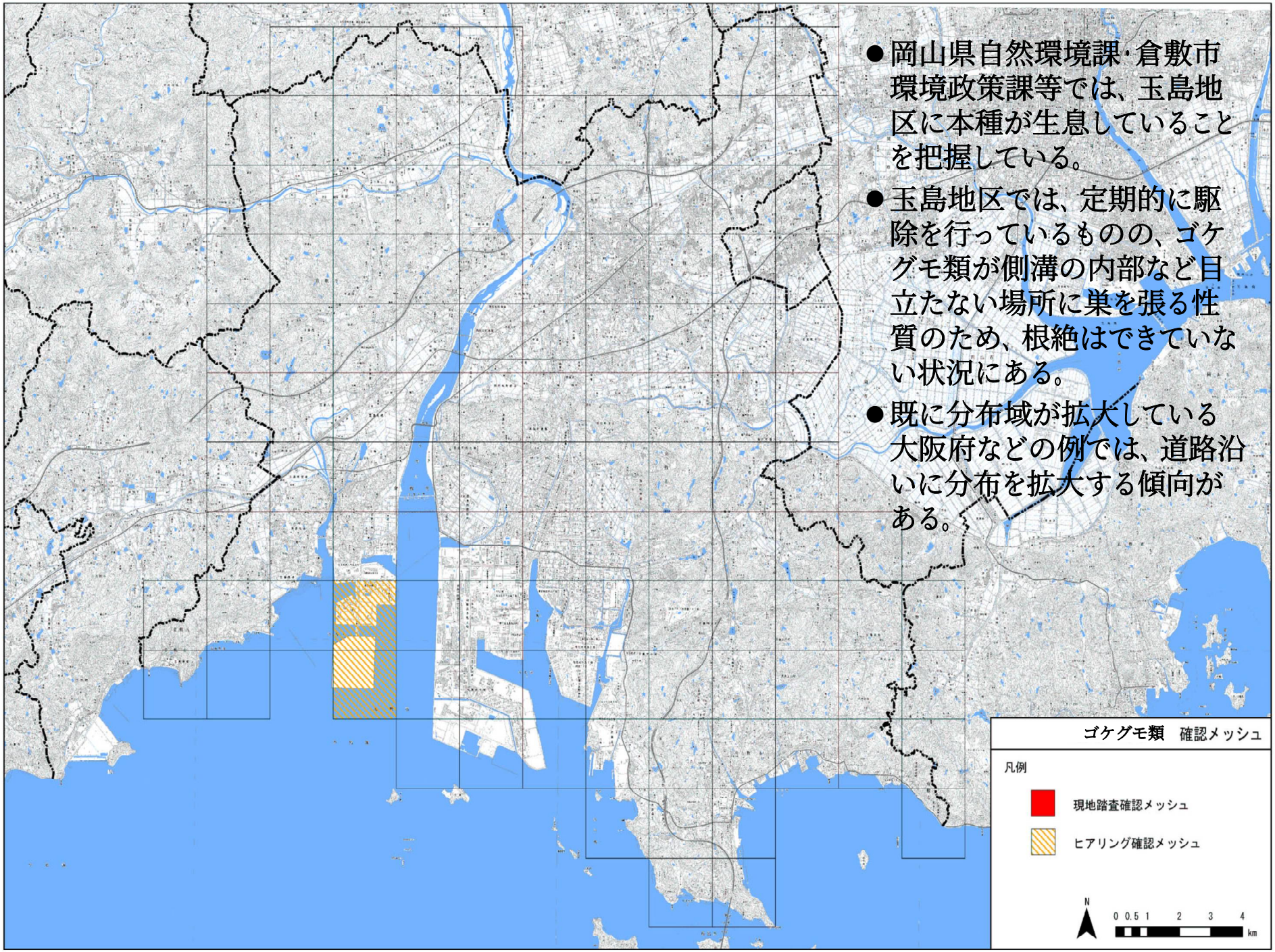
セアカゴケグモ写真出典：倉敷市HP
http://www.city.kurashiki.okayama.jp/dd.aspx?menuid=8049

ハイイロゴケグモ写真出典：岡山県HP
http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=28047

＜ハイイロゴケグモ＞

- セアカゴケグモのメスはα-ラトロトキシンという神経毒をもち、咬まれると激しい痛みと嘔吐、腹部痙攣などの症状を伴い、オーストラリアでは死亡例もある。
- ハイイロゴケグモのメスも同様の毒を持つが、セアカゴケグモよりは毒性が弱い。





- 岡山県自然環境課･倉敷市環境政策課等では、玉島地区に本種が生息していることを把握している。
- 玉島地区では、定期的に駆除を行っているものの、ゴケグモ類が側溝の内部など目立たない場所に巣を張る性質のため、根絶はできていない状況にある。
- 既に分布域が拡大している大阪府などの例では、道路沿いに分布を拡大する傾向がある。